

2009年 3月1日発行

「NPO雪のふるさと安塚」だより

第26回安塚スノーフェスティバル

～ご協力ありがとうございました～



安塚住民の
パワーが結集!



暖冬小雪のなか、「キャンドルロードの作成・点火」「雪像作り」「雪茶屋の設営」、たいへんお疲れ様でした。それぞれの地域・団体が創意・工夫・知恵を出し合い、見事なキャンドルロードを演出しました。

21日、22日ともに天候に恵まれ、キャンドルも消えることなく、きれいに灯り、幻想的な明りに訪れた皆さんは、感動の声をあげていました。



ご利用ください!

コピー 1枚 8円
印刷 A4 21枚目から2円
A3 " 3円
文書作成 A4 500円

など

* 皆さんどうぞご利用ください。

「NPO 雪のふるさと安塚」事務局は安塚コミュニティプラザ館内です。いつでも気軽にお立ち寄りください。

TEL: 025-592-2004 FAX: 025-592-3540
(IP電話でも通じます)

ホームページ <http://www.yasuzuka.net/>
NPO 雪のふるさと安塚でも検索できます。



お知らせ

楽しかった！「親子交流会」～NPO第1部会

2月8日、安塚コミュニティプラザで親子40名が参加し行われました。
はじめて見た腹話術にビックリ！人形の声はどこから出てくるのか、とても不思議でした。
節分に豆をまく訳の民話を聞いた後、お楽しみの「豆まき」をしました。
金棒をもったこわ～いオニが登場！「福は内！鬼は外！」と元気よく豆をまき、オニを追い払い、
福と春を呼び込みました。



大浦安「特急はくたか」の扉を開く会からのお知らせ

現在、虫川大杉駅に臨時停車している「特急はくたか」が6本程度あることから、この列車に乗降できるように、要請してほしい旨の署名の願いを一昨年させていただき、2,976名の皆様から署名をいただきました。

浦川原区、大島区を合わせますと、9,166名の署名となり、木浦市長に要請文と共に署名簿を手渡してお願いいたしました。

木浦市長は、この要請を受け、北越急行(株)に要請されると共に各機関の情報収集をされ、このたび1月14日付けで「要請書に対する回答書」が届きましたので概略をご報告いたします。

「回答書の要旨」

- 1、特急はくたかの役割や虫川大杉駅の利用客数等から実現は困難である。
- 1、特急はくたかは、東京方面への速達性を最優先に運行されていること。
- 1、虫川大杉駅への団体利用客の需要に対し、現在は臨時列車の運行で対応しているが、その利用は5月及び9月に集中しており、他の時期はほとんど需要がない現状である。
- 1、虫川大杉駅は待避線(北側)のホームが短いこと等から乗降停車に対応できない。
- 1、改札要員を新たに配置する必要も生じること。

以上のようなことから、乗降停車の実現は困難である。

ただし、当地域は多くの集客が見込める魅力にあふれる地域であり、中山間地域振興の観点からも、虫川大杉駅の利便性向上は大変重要な課題であると認識しておりますことから、まずは虫川大杉駅への臨時列車の需要が特に多い5月など期間限定での乗降停車を実現すべく、臨時列車の運行実績をさらに積み重ねていくことが重要と考えています。

以上の回答でありました。

多くの皆様からの署名のご協力に感謝し厚くお礼申し上げます。

なお、最近の虫川大杉駅の状況として、平成19年の一日平均乗降客は、152人で減少傾向にあるとの指摘もありましたので、列車利用のために皆さん方のご協力をお願いいたします。



大浦安「特急はくたか」の扉を開く会

安塚区代表

日下部 進